

大分大学教育学部の 入学定員増及び入試改革

学校推薦型選抜(初等中等教育コース)における
「大分の小学校教員志望枠(仮称)」の設定について

教育学部 入試委員長
藤原耕作

※入学定員増員については、現在、文部科学省と最終協議を行っているところであり、今後計画の内容が変更となる場合もあります。

○教育学部では、小学校をはじめとする深刻な教員不足の解消に貢献するため、学校教育に関する専門的な知識・技能を持ち高い実践的指導力を備えた教員をより多く養成することを目的に、入学定員を以下のように15人増員することを予定しています。

	～令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)～
学校教育教員養成課程	初等中等教育コース(125人) →	初等中等教育コース(140人)
	特別支援教育コース(10人) →	特別支援教育コース(10人)
合計	135人 →	150人

	～令和4年度入試		令和5年度入試～
学校推薦型選抜	30	→	+ 5 = 35名
総合型選抜	10	→	10名
一般選抜前期日程	65	→	+ 7 = 72名
一般選抜後期日程	20	→	+ 3 = 23名
合計	125	→	+15 = 140名

○学校推薦型選抜に、大分県を中心とした地域の、小学校教員を主とした学校教員を目指す者の枠として、「大分の小学校教員志望枠(仮称)」を設定し、大分県内に学校教員として定着する者の増加を期します。

○学校推薦型選抜は、これまで通り共通テストを課し、基礎学力を確認します。

○定員増加を学校推薦型選抜に限定するのではなく、一般選抜においても行うことにより、受験生の受験機会を拡大させ、優秀な学生を広く求めます。

初等中等教育コース

【変更前】～令和4年度入試推薦要件

○人物的に優れ、かつ、初等中等教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者



【変更後】令和5年度入試推薦要件～

○人物的に優れ、かつ、初等中等教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者

○卒業後は、大分県を中心とした地域の、小学校教員を主とした学校教員として、地域社会への貢献が出来る者

大分大学教育学部アドミッションポリシー(求める学生像)

1. 基礎学力を有し、小学校教員、特別支援学校教員、及び隣接校種である中学校教員、幼稚園教員として子どもたちの教育や支援に取り組む意欲と情熱がある人
2. 学校教育に深い関心があり、大分県を中心とした地域社会への貢献ができる人

アドミッションポリシーを踏まえた推薦要件の変更を行い、学校教員として大分県を中心とした地域社会への貢献が期待される優秀な学生を全国から広く求めます。

- 初等中等教育コースの学校推薦型選抜を「大分の小学校教員志望枠（仮称）」とし、「推薦要件」を変更します。
- 学校推薦型選抜の志望理由書・個人面接・グループディスカッションにおいて、それに伴う変更（推薦要件に係る質問の追加など）を行う予定です。
- 「推薦要件」の変更は、他県からの志願者を排除するものではありません。全国から広く大分の小学校教員志望者を募集するものです。
- 一般選抜では定員増に係る入試変更はありません。
- 特別支援教育コースには変更はありません。